

新規・継続等	新規	分野	砂防施設整備		事業番号	8	事業名	砂防(通常砂防)				
市町村名	木祖村		ふりがな 箇所名	はつまわ 初沢		かまぬま 蒲沼	事業年度 (完了年度は見込み)	年度～		年度		
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		砂防堰堤工 1基 H=10.0m L=50.0m				H22年度事業進捗率		0.0%			
	H23年度以降降実施内容		同上				本工事費等ベース		0.0%			
	H23年度実施内容		-				用地補償費ベース		0.0%			
	年度		全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降降	
	事業費計(千円)		250,000		0		0		0		250,000	
財源内訳	国庫支出金		125,000		0		0		0		125,000	
	その他											
	県債		112,500		0		0		0		112,500	
	一般財源		12,500		0		0		0		12,500	
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部	政策評価課			
								ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1～9戸			C	5	C	5
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所				0		0
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設有り			一般施設有り				0		0
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり			なし				1		1
	小計								6		6	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去20年に1回以上			災害履歴地			A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中				5		5
		防災計画上の位置づけ	あり			なし				5		5
		小計								15		
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C1.5以上			B/C1.0以上1.5未満			A	15	A	15
		早期発現度	5年未満			5年以上10年未満				3		3
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	検討あり			検討なし				0		0
		小計								18		
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	地質が脆弱かつ地すべり地形			地質が脆弱			A	5	A	5
		植生の状況	無林地や倒木が多い			放置林				4		4
		平均渓床勾配	10度以上			2度以上10度未満				5		5
		土砂整備率	0%			0%より大50%未満				7		7
	小計								21		21	
計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り			C	3	C	3	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知				0		0	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映				4		4	
	小計								7			7
費用対効果(B/C)		1.5			評価の合計			B	67	B	67	
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	初沢では、平成18年の7月豪雨において溢水被害があり、地元で土のう積により被害軽減を図った経緯がある。今後集中豪雨や台風がきっかけとなり上流部の不安定土塊の流出による土石流の発生が懸念される。下流域には人家6戸とともに、緊急輸送路である主要地方道もあるため、早期な保全が要望されている。										
	地域からの要望経緯	毎年行われている木祖村の現地調査で強い要望がある。										
	事業説明等の経緯	事業説明については未実施。										
	環境・景観への配慮項目	現地の状況を踏まえながら、溪流の環境に馴染む構造・工法の採用に努めていく。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
特記事項	土砂災害を防止することにより住民の生活水準を維持する。事業計画の策定段階における地元への説明会等をはじめ、工事実施時、完成後の維持管理等の各段階において地域の現状や事業について情報交換や意見交換会を積極的に行い、それらの内容を地域全体で共有できるよう努める。											
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他			
部意見	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。砂防施設による対策が必要であるが、当面は警戒避難体制のソフト対策を優先することとし、今後の地元との意見交換会を通じて計画熟度の向上に努める。					政策評価課 意見		計画熟度がやや低い。				